

# 大雪によるハウス倒壊等に伴う農作物等の栽培管理について（第1報）

平成26年2月16日  
農業技術課

## 1 状況確認

- (1) ほ場や施設に入れるように除雪を行うが、積もった雪で水路や畔などの位置が分り難くなっているため、除雪の際は十分に注意する。
- (2) 被害の発生状況を確認できたら、復旧作業を計画的に進める。

## 2 ハウス共通

- (1) 施設が変形または倒壊しかかっている場合は、人的被害に十分注意しながら、施設内に支柱を立てて補強するとともに被覆資材を補修する。パイプが窪んでいると、今後の少しの降雪で被害が拡大しやすいので、こまめな雪落としや支柱の追加、十分な加温により被害防止を図る。
- (2) これまでに被害が見られていない場合でも、今後の降雪で被害が発生する恐れがあるので、支柱などを多く設置して施設の補強を図る。
- (3) 部分的に破損している場合には、内張りカーテンや仕切りなどを行うことにより、農作物の生育に支障が起きない最低温度を確保して、早急に復旧を図る。

## 3 果樹

- (1) ハウス内の果樹の樹体保護
  - ア ハウス倒壊により凍害を受けた場合は、生育ステージによって回復が可能であるかを判断する。加温開始直後で施設の速やかな復旧ができない場合は露地作型に切り替えるが、樹体の主幹部にわら巻きを行うなど樹体の保護に努める。
  - イ ハウスの倒壊によりぶどうの主枝などが裂けている場合は、ボルトやカスガイなどで止め、乾かないように傷口を塗布剤で覆う。ロープなどで巻き、締めておいてもよい。また、傷口から水が入らないようにシルバー系のビニール類で覆う。
- (2) 積雪の払落し
  - ア 果樹の立木や棚に積もった雪は、早急に落とす。なお、ブドウ棚の雪の落とし方は、園の中央から外側に向かって、徐々に円を広げるように行う。傾斜地の場合は、下方から雪を落とす（別紙参照）。
  - イ りんごわい化樹の下枝は、掘り上げや融雪剤散布、スコップによる掘り割り等を行い被害を防ぐ。
- (3) 融雪対策
  - ア 雪の表面に融雪剤、黒土、焼モミガラ、堆厩肥、木灰等有色のものを散布する。
  - イ 雪面に凹凸のうねをつけ大気と接触する表面積を大きくして融雪を促進する。
  - ウ アとイを併用すると効果が高い。
  - エ 融雪水が多くなるので、排水溝や明きよを掘ってほ場外へ排水する。

## 4 施設野菜

- (1) 促成イチゴ
  - ア 施設の倒壊により加温を継続できない場合は、株を強く凍結させないように、ポリフィルムと保温マット等で二重に保温する。ハウスが修復できたら、保温・加温を開始する。
  - イ 凍結したイチゴは、現在ある蕾や果房を除去するとともに、5葉程度残して摘葉し、新たな花房の発生を待つ。
  - ウ 施設や被覆資材を補修し、保温・加温を継続する場合、夜温は最低5℃を確保する。

## (2) 夏秋イチゴ

ア 定植直後で芽の動いていない状況では、低温による影響は小さい。ハウスの復旧を急ぎ、栽培管理を再開する。

## (3) ほうれんそう

ア 倒壊した部位の資材は撤去し、不織布やポリフィルムでトンネルまたはべたがけし、夜間2℃を確保する。すぐに対応できない場合は、除雪後、露地作に切り替える。

## (4) 定植済みの野菜

ア ハウスの修復が不可能な場合は、至急苗（株）を掘り上げて保温できるハウスへ移す。

## (5) 育苗中の野菜

ア 育苗中のハウスが倒壊し、以後の育苗管理作業ができない場合は、速やかに苗を別の施設等に移動し、育苗を継続する。

イ 施設や被覆資材を補修して育苗を継続する場合、採光性が急に向上すると日焼け症状を起こすので注意する。

## (6) その他

ア 定植予定のハウスが被害を受けて定植が遅れる場合は、順化の延長やポット等への仮植を行い、施設の修復を急ぐ。

## 5 施設花き

(1) 半壊等の施設被害を受けた場合で、栽培中の花きの損傷を免れた場合は、すみやかに施設内に流入した雪を取り除いて空間を作り、花きの保護を行う。

(2) 加温機が稼働できる場合は、引き続き加温を行って凍害を回避する。

加温機が稼働できない場合、もしくは設置されていない場合は、不織布や保温マット等により保温に努め、凍害を回避する。

(3) 定植間もない花きで、ハウスの修復が不可能な場合は、至急苗（株）を掘り上げて保温できるハウスへ移す。

(4) シャクヤクの加温栽培で、萌芽前の場合には株への影響が少ないと思われる。ハウスの修復が可能であれば、すみやかに修復して加温を再開する。修復できない場合は、資材等を撤去して露地栽培に切り替える。

## 6 畜産

(1) 畜舎が倒壊した場合は、人的被害に十分注意しながら、速やかに寒さをしのげる空き施設等へ家畜を移すとともに、倒壊した施設の電気・ガス・水道を遮断し二次災害を防ぐ。